

令和7年9月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
9月	3日	油流出	港町地内	事業場	機械油等	日本海	大雨の影響で工場敷地内が冠水し、オイルピットが水没したために工場内の水路に油が流出し、排水処理施設を通じて直江津港内にも油膜が確認された。工場敷地内には吸着マット、直江津港内水路吐口にはオイルフェンスを原因者が設置して拡散防止措置を実施した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
9月	18日	油流出	石橋新田地内	事業場	機械油等	一級河川 潟川	産業団地内の調整池で、ポンプの維持管理業者が油膜を確認した。接続する水路の上流を調査したところ、近隣事業所の油水分離槽から油膜が流れ込んでいることを確認した。 降雨により油水分離槽に雨水が多量に流入したことで、槽内の油が流出したことが原因であった。 原因者が槽内の油等を回収して場内水路に吸着マットを設置、調整池の管理者が調整池及び潟川への吐出口にオイルフェンスを設置して拡散防止措置を実施した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。
9月	26日	油流出	長浜地内	事業場	灯油	水路	長浜地内の水路に油膜があると通報があり、関係機関で現地を確認したところ上流の亀裂部から油が染み出していた。その箇所に敷地を接する民宿を調べたところ、使用していない配管のバルブが開いており、そこから灯油が漏れていることを確認した。バルブを閉め、関係機関と事業者でオイルフェンス、吸着マットで拡散防止措置を実施した。 新たな流出はなく、生活環境への影響はない。